

「新年賀詞交換会」を開催

2020年1月7日（火）、日本船主協会および日本造船工業会は、新年賀詞交換会（於：海運ビル）を共催し、当日は国会議員の先生方や国土交通省・防衛省等の関係省庁、関係業界や団体、両会会員会社等から約650名の方々にご参加いただきました。



会場の模様

会の冒頭、内藤忠頭日本船主協会会長が挨拶に立ち、米中間の貿易摩擦や環境規制の厳格化など、海運・造船の両業界にとって先行き不透明な状況ではあるが、本年も様々な重要課題に取り組んでいく決意を示しました。特に、本年1月1日より施行されたSOx規制をはじめとする地球環境保全への取組みについては、関係者と連携して対応していくと述べました。また、航行安全問題については、引き続き航行の安全確保をお願いしたいと述べた上で、昨年末閣議決定された中東地域における日本関係船舶の安全確保に向けた自衛隊のアセット活用等を歓迎する意向を示しました。



内藤船協会長



青木国土交通副大臣

続いて、ご来賓を代表して青木一彦国土交通副大臣よりご挨拶があり、海運については船舶の買換特例等税制の延長等が認められたことに触れつつ、引き続き競争力強化に努めるとともに航行の安全確保に尽力し、また、造船については公平な競争条件の確保等を通じ、発展に向けた環境整備を進めるべく、国土交通省として、海事産業の一層の発展に向け、直面する課題に全力で取り組んでいきたいとお言葉をいただきました。

最後に、斎藤保日本造船工業会会長から、造船業界は世界そして日本でも集約に向けた動きが加速するなど構造変革のターニングポイントを迎えている中、今後強化される環境規制に対応した船への代替建造需要による市況改善へ期待を示すとともに、日本の造船所を信頼いただき積極的な発注を続けていただきたいとの発言があり、日本海事産業の今年一年の発展を願いつつ乾杯の音頭を取りました。



斎藤造工会長

会場では参加の皆様が親睦を深め、新年を盛大に祝う賀詞交換会は盛会のうちに終了いたしました。